

柏流さよなら少年野球大会・大会要項

令和8年1月改訂

大会名	柏流さよなら少年野球大会
主催・主管	柏流さよなら少年野球大会運営委員会
後援	ダイワマルエス株式会社 流山クラブ(日本少年野球連盟加盟) (株)共同写真企画 朝日スポーツキッズ
開催期間	毎年1月成人の日(祝日)に、流山クラブグラウンドで開会式を行う。2月初旬までをブロックのリーグ戦終了出来るように、抽選会でブロック分けが決まった時点から、試合を行っても構わない。 決勝大会は、各ブロックの1位チームによりトーナメント方式で行う。開催日は原則2月中～3月初旬に行い、決勝・3位決定戦は流山クラブのグラウンドで開催する。
参加チーム 出場資格	すべて6年生のみ。単独チームでの参加が出来ない場合は、4チームまでの混成が認められる。メンバーが多い場合は、同一チームで2チームの出場も許される。 出場チームの名称は独自のものでよく、監督・コーチ・選手のユニホーム、背番号も統一しなくても良い。(但し、背番号は0番から99番までとする) 地域は原則として東葛地域を対象とするが『友軍』チームの出場も出来る。ただし、大会本部の承認を受けること。
参加費	原則として、1チーム5000円(但し、特別処置として変更する場合がある。) 他にリーグ戦使用球の購入をしていただきます。
大会規定	最新年度「公認野球規則」並びに全日本軟式野球連盟「少年野球に関する事項」及び以下の特別規定(含むグラウンドルール)を適用する。 ①全試合6イニング・時間制とする。 ②試合時間はシートノックを除き1時間30分。 なお、シートノックは各チーム5分以内とする。 ③リーグ戦の場合、6回終了または規定時間に達して勝敗が決しない場合は、引き分け。 規定時間内でも延長戦も行わない。特別延長ルールも適用しない。 ④その他、グラウンドルールは当該グラウンドの特別ルールを適用する。 ⑤大会使用球は、マルエスボールC号。 ⑥投手の投球回数を一試合3イニング(9アウト)までとし、一日6イニング(18アウト)までとする。

特別規則 [六年生大会]

試合の勝ち負けよりも、六年生の選手をできるだけ試合に参加させて下さい。

選手が10名以上いる場合には、指名打者(DH)制を適用すること。

指名打者は守備に付ける事はできるが、ベンチに下がった選手は再び出場することはできない。メンバーが9名しかいない時はDH制の適用を除外する。

試合方法	<p>①参加チームを4～8ブロックに分けて、それぞれ総当りのリーグ戦を行い、各ブロック1位のチームのみが決勝大会に出場できる。</p> <p>②リーグ戦の成績は、勝ち点制を適用する。 勝ち…2ポイント、引き分け…1ポイント、負け…0ポイント 勝ち点が同じ場合には、次の規程により決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 対戦勝利チームが上位。 2. 三つ巴の場合は、得失点差の多いチームが上位で、得失点も同じ場合は総失点の少ないチームが上位となる。 3. ただし、三つ巴でも不戦敗がある場合は、当該チームがたとえ得失点差で上回っても、3チームの最下位とする。 <p>③リーグ戦の日程については、各ブロック内で話し合って決定する。勝利チームは速やかにブロック長に報告すること。</p> <p>④ブロック内の試合日程を事前に連絡しないで2試合以上棄権したチームは、自動的に失格となり、以後の試合に出場出来ない。残り試合は総べて不戦敗となるので（得点は0-10）、ブロック長・当該チームに必ず連絡をして試合の日程変更を行って下さい。</p>
ブロック長	<p>リーグ戦の統括責任者として、日程の編成・運営について「大会運営委員」としての権限を有し、すべての責任を持つ。同時に、リーグ内の試合結果を大会運営事務局まで速やかに報告することを義務付ける。</p>
《決勝大会》	<p>東葛地区親睦少年野球大会のホームページ内の試合結果報告から報告すること。</p> <p>各ブロック1位のチームが決勝大会へ進出することができる。決勝大会（決勝戦も含む）はコールドゲームを適用する。コールドゲームは3回以降10点差、4回以降7点差で成立する。なお、時間に達しても同点の場合は特別延長ルール（無死1・2塁で継続打者）を適用する。</p> <p>表彰 優勝・準優勝・第三位・第四位の団体表彰。</p>
補足事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 冬季期間の大会につき、審判及び役員が認めた場合に限りジャンバー、グラウンドコート着用でのプレーが許される。 2. 応援者の汚いヤジや言動に対しては、当該審判員及び役員（試合当事者でも可）は、直ちに注意を促し、改まらない場合は当該審判員及び役員は退場させる権限を持つ。 3. 冬季期間の大会であるので、当該チームは選手の健康管理に十分に気を配ること。 （ベンチ入り指導者5名以外に、女性の介護員1～2名ベンチに入って、給水などの世話をすることができる。） 試合中の病気やケガについては、当該チームで応急処置・対処すること。 4. 開会式・閉会式には、各チームでプラカード・団旗（規格は特に定めない）を持参すること。 5. 抽選会などにおけるチーム登録については、正式チーム名・連絡責任者・監督の住所・氏名（フルネーム）・電話番号・携帯番号（持っている人は）を必ず届け出ること。 6. シートノック・試合前の練習の際も、捕手は必ず防具を付けること。捕手の控え選手も必ず防具を着用すること。

